

「ご挨拶」

「愛の家」運営委員会共同委員長 牧師 森田 幸男
(日本キリスト教会・大阪北教会)



「主の愛と福音を伝える」ため、金鐘賢牧師・姜貞淑御夫妻一家が日本に遣わされ 15 年余の時間が経過しました。浪速教会・愛の家の働きが神様の大きなご計画の中にある事を覚え、感謝し、教会員、

支援者、教会に集う兄弟姉妹たちと共により熱心に主の御業に仕えて行きたいと思ひます。

大阪北教会が炊き出し奉仕に携わるようになったのは、間もなく 18 周年を迎えるあの「阪神淡路大震災」がきっかけでした。被災地での炊き出し、西成愛隣地区での数年の炊き出し、そして地元中之島における 10 年余の炊き出し。これらすべては全く思いがけない展開でした。

そして浪速教会との出会いが与えられ早や 11 年になります。その間、色々な出会いに恵まれて来ましたが、今年 2 月 1 日のことは、ぜひとも、皆様にお伝えしたいことです。

浪速教会・愛の家には毎年何組かのグループが韓国から研修に来られ、教会の宣教活動・炊き出しに参加されます。そして大阪北教会にも来られ、一緒に奉仕する流れができています。

今年 1 月末から 2 月の始めにかけて、韓国テグの三徳教会から 14 名の青年が来日されました。主に大学生なのですが、そのなかに小学 6 年生 12 歳のヨセフ君が交じっていました。「どうして小学生がこの時季に来られたのか」と思ったのですが、韓国ではこの時季既に休みに入っているとの事で合点がゆきました。そしてヨセフ君も一緒に中之島公園で炊き出しをし、そして一緒に食事をし、交流の時を持ちました。

4 時間くらいを共に過ごし、一行が浪速教会に戻る間際、引率の先生がこう言われました。「ヨセフ君は、『僕が死んだら、(北教会の) この納骨堂に納めてほしい』と言っています」と。そして、私たちは別れました。(大阪北教会には、2 階の礼拝堂の入り口に納骨堂があります。)

私はそれ以来、ヨセフ君の言葉を思い巡らしていますが、ヨセフ君の一言は、考えれば考える程、意義深いものに思われてなりません。少なくとも「炊き出し奉仕」がなければヨセフ君に出会う事もこの言葉を聞く事もなかったはずで、私達の「炊き出し奉仕」は神様の御心だと思ひます。

「ご挨拶」

在日大韓基督教会・関西地方会長 牧師 趙永哲
(大阪北部教会)



私たちが在日大韓基督教会は、様々な教会の在り方や働きが成されています。その中でも、関西地方会に連なる浪速教会「愛の家」の働きは非常に貴重なものがあります。

これまでの浪速教会「愛の家」の働きを次の三つに分けて見ることができるでしょう。

第 1 に、教会の最も大切であり基本的な使命である「人を救う(霊的・肉体的)」役割としての教会です。これまで浪速教会の担任牧師であり、愛の家の実務者として仕えておられる金鐘賢牧師の福音に対する情熱と魂を救う心は、尊いアガペーの愛のあらわれと言えます。

第 2 に、浪速教会の様々な奉仕や仕える姿勢は、イエス様に見習ったものです。イエス様がこの世に来られた目的は、まさに「仕えられるだけではなく、仕えるため」(マタイ 2:28)であります。愛の家の奉仕とその支援者は、イエス様の姿を私たちに示しています。

第 3 に、ごく小さなものをも共に分かち合うことを通して、この社会と共に歩む教会なのです。愛の家はまさに「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く」(ローマ 12:15)姿勢を体現しています。

私たちが過ごしているこの日本の社会はますます貧富の差が開き格差社会とも言われています。このような中で、浪速教会「愛の家」の働きは実際に私たちの疎外された隣人たちにとって、大きな助けとなっているのです。

もうすぐアドベントです。それは人間としてお生まれになったイエス様を迎える準備をする時です。ほんの少しの関心を示すことで、私たちの愛の具体的な働き手である浪速教会の力となって頂ければ幸いです。



「愛の家」の風景

www.ainoie.org



①2012復活際受洗者/2012 부활절 세례자



②2012. 7. 1創立15周年記念礼拝/창립15주년기념예배



③金曜炊出し/금요무료급식



④木曜伝道集会・日曜伝道集会 /목요, 주일전도집회



⑤金曜炊出しー衣類分配 금요무료식사 의류분배



⑥ 9. 23-25全信徒修養會 /전신도수양회



⑦宣教チームの公演/성복교회선교팀



⑧原州市民教会/원주시민교회선교팀



⑨ 聖書勉強會 /성경공부

2012年「愛の家」役員会(三役会) ニュース

1. 会議

第1回 日時：2012年6月8日(金) 午後2時

場所：浪速教会堂

第2回 日時：2012年7月27日(金) 午後1時

場所：レストラン デニス(天王寺店)

出席者：森田幸男、金安弘、全聖三、金鐘賢牧師(4名)

2. 決議事項

- 2012年度第3回チャリティ・コンサートの件

1) 韓国イエス宣教合唱団を招待しミュージカル「オリブ山上のキリスト」を公演する。

大阪 ー 場所：大阪教会

日時：8月31日(金)午後6時30分

猪名川町ー 場所：グッド・サマリタン・チャーチ

日時：9月1日(土) 午後3時

《第3回「愛の家」 チャリティ・コンサート》

第3回「愛の家」チャリティ・コンサートが、9月7日(金)に韓国イエス宣教合唱団(35名)を招き、神戸のグッド・サマリタン・チャーチと大阪教会(大阪・生野)の2か所で行いました。

イエス宣教合唱団(団長：金明子勲士)は2005年10月第2回「愛の家」チャリティ・コンサートの時も公演したことがあります。その時「愛の家」センター建築のための募金活動に団員全員が協力し建築を進める力を与えてくれました。今回もコンサートの費用を一切払うばかりか「愛の家」活動のためにも献金してくださいました。

今回はミュージカル形式のコンサートだったので両教会とも子供から大人まで多くの人々が参加されていました。ミュージカルは「イエス・キリストの御受難」のテーマをもって韓国語で公演されましたが、合唱団の力強い歌声と迫力ある演技によって言葉の壁を越え、参加者全員が大いに恵まれておられました。私達信徒一同も、改めてイエス様の尊い十字架の贖いを知る事ができ、これからの生きる希望と信仰に対する確信を持つ事が出来ました。又、コンサートでの献金に御協力頂き心より感謝致します。



「愛の家」会計決算書(2012.4～2012.11)

収入	12予算	決 算	
定期後援会	1,000,000	485,000	
一般後援会	1,500,000	1,165,211	
クリスマス献金	1,000,000	115,000	
食事献金	2,000,000	1,625,030	
総会支援金	500,000	0	
御米献金	300,000	182,930	
小計	6,300,000	3,573,171	
繰越金	457,571	457,571	
合計	6,757,404	4,030,742	

支出			
事務・備品費	730,000	179,582	
交通費	100,000	28,400	
車両維持費	300,000	0	
奉仕者支援金	900,000	920,000	
研修費	150,000		
御米代	1,000,000	676,880	
副食費	2,600,000	1,903,198	
会議費	30,000	20,739	
修理施設費	50,000	0	
愛の家建築積立金	700,000	0	
救済費	50,000	0	
予備費	147,404	30,000	
小計	6,757,404	3,728,799	
繰越金		301,943	
合計	6,757,404	4,030,742	

「愛の家」建築会計決算書(2012.4.1～2012.12.7)

収入	12 予算	決 算	備考
建築献金(国内)	3,000,000	663,202	
建築献金(海外)	3,000,000	0	
アルミ集会献金	200,000	90,855	
教会建築積立金	300,000	0	
愛の家築積立金	1,500,000	0	
地方会支援金	600,000	450,000	
福祉部屋献金	3,400,000	1,790,000	
福祉部屋積立金	0	1,000,000	
受け取り利子	0	301	
小計	12,000,000	3,994,358	
繰越金	1,563,939	1,563,939	
収入合計	13,563,939	5,558,297	

支出			
銀行融資返済金	8,500,000	2,973,646	
エコロフ融資返済金	2,100,000	2,040,000	
リフォーム工事代	500,000	69,947	
募金交通費	400,000	0	
諸経費	200,000	525	
小計	11,700,000	5,084,118	
繰越金	6,464,792	474,179	
合計	18,164,792	5,558,297	

負債現況(2012年12月7日現在)

教会堂「愛の家」センター建築

銀行融資金 15,728,000 円

エコロフ融資返済金 2,000,000 円

教会債 0 円

合計 17,728,000 円

「愛の家」近況報告

《宣教チームの訪問》2p 写真 ⑦⑧

今年の夏も恒例の宣教チームが来教しました。釜山スヨン口宣教チーム(11名)、ウォンジュ市民教会宣教チーム(26名)、ソウル城北教会宣教チーム(14名)の3チームと秋にはYWAM ホノルル短期宣教研修チーム(6名)の1チームです。毎年、来教するチームは「愛の家」の活動を心に留め、来訪する度に日本の弱い人々を愛し宣教活動や奉仕をしてくれます。又、チームは何ヶ月も前から私達の為に讚美・ダンスを準備し、失業者・野宿者に向け伝道集会を行ってくれます。この野宿者達に対しての深い愛と強い信仰心を持って奉仕してくれまので、集会に参加した人々がみな恵みに満たされ喜びながら帰って行きます。チームの日本への情熱的な宣教活動によって、イエス様を信じる人々が多く現われますよう、切に祈ります。同時に「来年も素晴らしい宣教チームを送って下さる様に」と神様に切に祈っています。

《2012年度全信徒修養会》2p 写真 ⑥

今年も恒例の全信徒修養会を9月下旬に3日間の日程で兵庫県の氷上祈禱院で行いました。今年は大人だけの修養会となりましたが多くの信徒が参加し、開会礼拝から始まり、午後の礼拝、夜の祈禱会、そして、早天祈禱会、分担祈禱会を行いました。祈禱会では姜師母による讚美の導きで賛美歌を大いに歌い、踊り、又、礼拝では金鐘賢牧師の導きにより御言葉を聞き、共に祈り、主と交わりの時を持つ事ができ、大変恵まれました。そして、祈禱会の合間には自然豊かな祈禱院の周りを散策しながら子供に帰りカエルと戯れ、夕食時は祈禱院の庭を借り野外バーベキューで舌つつみし、食後は皆で温泉に浸たり日頃の疲れを癒していました。

《聖書勉強会・洗礼者教育》2p 写真 ①⑨

今年も恒例の「聖書勉強会」と「洗礼者教育」が行われました。「聖書勉強会」は毎木曜日に10回に渡り初級「新しい主の家族の道」講師—姜師母)と中級「クリスチ안의祈禱生活」講師—金牧師)の2クラスに分かれて行われました。今回の初級クラスには今まで無信仰だった人達が多く参加されました。勉強会では全員が時間前に着席しテキストを片手に予習をし、講義中は講師の話をよく聞き、講義の内容を自分のものとする為、熱心に受講されていました。そして、全員が最後まで欠席する事なく無事に卒業する事が出来ました。「洗礼者教育」も毎週金曜日に行われ、今回は3人が参加されています。いつも、洗礼を自ら受ける決心がつかず迷う人々が多い中で、今回は自ら「洗礼を受けます」と強い意志を持って教育に望まれていました。尚、今年のイースター洗礼式では1人の兄弟が洗礼を受けられました。

《木曜伝道集会・日曜伝道集会》2p 写真 ④

木曜・日曜集会には100名近くの失業・野宿者の方々が来られます。木曜集会ではAM.8:30に入場し、9:00からは支援者から頂いたコーヒーを飲みながらキリスト教関係のビデオを鑑賞やシャワーを使用したりしてリラックスされています。礼拝の時間に成ると、姜貞淑師母(木曜担当)と吉見姉妹(日曜担当)の二人の素晴らしい歌声の導きにより賛美を合唱し、礼拝へと進んでいきます。礼拝は毎週、各先生方が説教の奉仕をして下さいます。奉仕して下さる先生方は当教会の金鐘賢牧師を始め朴栄子牧師(豊中第一復興

教会)・金景淑牧師(ホザナ教会)・全聖三牧師(布施教会)の先生方です。多くの兄弟達が礼拝を通して各先生方の恵み溢れる御言葉を聞き、感動を覚えイエス様を信じる様に祈ります。そして、礼拝後は支援者から頂いた食材で調理された食事が配布され、参加者が共に交わりながら食事しておられます。尚、日曜日が井物で木曜日がランチ形式のメニューになっています。兄弟達が帰る時に「行ってらっしゃい」と声をかけると「有難う御座いました。」と返事が返ってきます。これも支援して下さった皆様方へのお礼だと私達は思っています。

《金曜炊き出し会・衣類配布会》2p 写真 ③⑤

毎週、金曜日には野外(西成公園)でのジャンボお握りと味噌汁を配布する炊き出し会を行っています。その日は早朝より準備に掛かりお米45kg程を使用し、ジャンボお握りを毎回250個程、奉仕者の皆様と共に作ります。又、支援して下さったお米で作る時は支援者のお名前を発表し、感謝しながら握り、作業終了後は全員で賛美歌を歌い、炊き出しの場所へ出向きます。又、炊き出しと同時に皆様から頂いた衣類を配布する週もあります。寒さが厳しい時などは、自分の求めたい物を手に入れて満面の笑顔で私達に御礼を言ってくれます。本当に支援者の方々に心から感謝します。これから暖かいご支援を御願い致します。

《「教会学校」大好きな子供達!》2p 写真 ⑧

今年も元気一杯の子供達が毎主日の教会学校に参加しています。礼拝では姜貞淑師母の導きで一人一人が大きな声で賛美し、御言葉を真剣に聞き、自分の為、友達の為に祈っています。3~4才の子供達が小さい手を合わせて心より祈っている姿を見ると、私達が反対に恵みと勇気を貰っている様な気がします。そして、今年も生誕祭で、失業者・野宿者の方々に発表する聖劇・歌・楽器演奏等を主日礼拝後、各先生の指導の元に一生懸命練習しています。発表会で天使の様な子供達の姿に感動し、恵まれ、多くの兄弟達がイエス様を信じる心を開くようお祈りしています。そして、これからも子供達がイエス様の教えを良く守り、命の大切さを知り、立派に成長し次世代の浪速教会の中心となる様に私達信徒一同は心より祈っています。

《教会創立15周年記念礼拝》2p 写真 ②

浪速教会は今年で節目の15周年を迎えました。その記念礼拝が7月1日の主日に韓国と日本で福音歌手として活躍されている呉ダンビ執事を特別ゲストとしてお迎えし、おごそかに行われました。浪速教会は皆様も御存じの通り、この世の最も弱く貧しい人々を救う為に、金鐘賢牧師と姜師母との二人三脚で何も無いところから開拓伝道されました。最初は自分達も貧しい中、野宿者の為に食糧を分かち合いながら病人を看病し、弱者の為に献身的に奉仕をされました。その姿を神様が御心に留めて下さり大いなる祝福をこの浪速教会「愛の家」に与えて下さり、そしていつも暖かく御支援して下さる全国の支援者の皆様方のおかげで、今日に至っています。これからも30年、60年、100年と浪速教会「愛の家」は弱者の為に奉仕できる様、金牧師、姜師母をはじめ信徒一同が心をつなげて奉仕させて頂く所存です。

今年一年、暖かい御支援を有難う御座いました。

これから引き続き御支援の程を宜しく御願い致します。

奉仕者の声

「12 年間奉仕をして感じたこと」

金 英姫（キム ヨンヒ） 勸士
（愛の家 ボランティア）

ハレルヤ

私が「愛の家」の炊き出しの奉仕に加わって今年で早12年になりました。最初は通っていた大阪聖山教会の金秀牧師の勧めで「愛の家」を訪ねました。当時、浪速教会「愛の家」は借家で経済的にも困窮していた状況で、とても貧しく難しい環境の中で金鐘賢牧師と姜貞淑師母が一生懸命に奉仕されている姿を見て、大きな感銘と感動を受けました。

その時、私はそんなに信仰が強い人でも、聖霊に満ちた人でもなく、誰かを助けて生きることなんて全く考えた事も思った事ありませんでした。只々、自分の平安と幸せだけを求めて生きていました。ただ少し、ある人の勧めで「ワールドビジョン」という救済団体を通してアフリカの飢えている子供達のため、少し支援をしている位でした。当時、私は難しい環境に置かれている人達のことは、遠い所で見ただけで関心を持つ余裕がなく、自分の環境・問題・試練だけを思い、一日一日過ごしていました。自分と自分の家族、兄弟の問題のことで、精一杯で人のことを考える余裕が有りませんでした。

しかし、浪速教会「愛の家」の木曜集会や金曜炊き出しに参加して行くうちに隣人と共に分かち合って生きることの大切さを体験し学ぶことになりました。とても苦しく生きていた病弱な兄弟が「愛の家」に通い続ける内に元気で笑い声を取り戻す様子を見て、萎えていた植物に少し水をやると生き返る事と同じく、路上生活者の兄弟達が「愛の家」の働きを通して生きる喜びと希望を分かち合い、明るく生きているのだと感じました。

分かち合うことは誰かのためではなく自分が生きる希望と喜びを見つけるために必要であると思います。人の人生を見つめて見ると飛翔と没落が一瞬であると思うようになりました。



誤った一瞬の判断とミスで人生のどん底に落ち、すべてを失い人生を諦め、家族からも社会からも疎外され、健康も失った兄弟達が「愛の家」の助けを受けて人生を立ち直し、炊き出し奉仕を共に担う様になり、イエス様を信じて生まれ替わり、信仰が成長して行く様子を見ています、いつも共に喜び感謝しています。そして、私と夫は昨年から浪速教会の信徒になって「愛の家」の家族としてもっと身近なところで兄弟達と共に喜びも苦労も分かち合って生きるようになりました。

私達の浪速教会の金牧師は、全国から多くの支援者の皆さんからの暖かい御支援とお祈りして下さる事で励まされ、毎日が多忙であります、神の僕、器として用いられた事に満足され一生懸命、ホームレスの方々と「愛の家」のために奉仕されています。又、姜師母は、私が12年間そばで見っていますが、一度も怒る事も疲れた様な表情で奉仕されている姿を見たことがありません。いつも元気よく笑顔で、教会に通って来る多くの兄弟達を元気付けてくれています。

今、私はお互いに尊敬し愛している二人に見習って微力ながらも「愛の家」の働きに加わることが許されたことに感謝し本当に幸せです。私達の教会には、若い人も元気な人もほとんどいません。しかし、みんな体の弱さ、病気、障害を抱えていても、しんどく思わないで喜んで一生懸命に奉仕しています。兄弟たちのその姿を見て神様が如何に兄弟達を愛し、喜んでいらっしゃるかと思っているだけです。お陰様で私達、浪速教会「愛の家」を通して今、古木に愛の花が「パツ !!」と咲いています。

奉仕者の声

『浪速教会で、主の恵みをうけ…』

池西 義照 執事
(愛の家 ボランティア)

主の御名を賛美します。

私は二年前に浪速教会で金牧師先生、姜師母に出会い浪速教会で洗礼を受けました。

私は其れまで、さまざまな所で職業を転々として自分勝手に生きていました。例えば、家庭を顧みない生活が続き、最後には家族からも愛想をつかされ一家離散という状況になってしまいました。おまけに前職の仕事上、外国生活が多い私がある時帰国して我が家に帰ってみると、もうそこは他人の家になっており、自分が帰る家も無くなっていました。その上、全財産の400万円を1年で使い果たしてしまい途方にくれ、荒れた生活を重ねていく毎日でした。

その結果、自暴自棄になり悪の道に段々と入っていくようになり、多くの人々に迷惑をかける事を度々重ねていく生活でした。また、私自身生まれて初めてホームレスを経験し、慣れないダンボール生活をしなければならない状況の中で、一時は自殺をも考えた事がありましたが、その勇気も無く悶々とした日々を送っていました。

しかし、“この様な生活から抜け出さなければいけない”という思いが募ってきている時、ホームレス仲間に炊き出しをしている所を教えてもらい、方々の教会を巡り回っている内に浪速教会を知り、この西成・この浪速教会にやって来ました。その時、お腹が減りすぎて立っているのがやっとの時、浪速教会で与えてもらった美味しい食事を今でも忘れる事が出来ません。その様にして浪速教会に通っている内にスタッフの奉仕している姿を見て、“私にも手伝う事が出来るんじゃないかな”と思うようになり、「私、調理の経験があるので」と金牧師先生と姜師母に話をしたところ私が教会で奉仕

する事を快く受け入れて下さいました。

それまで、イエス・キリストを信じる信仰にまったく興味がなく、お腹が満たされれば良いという考えを常にもっていましたが、奉仕活動に参加しながら礼拝時の牧師先生の説教を聞いている内に信仰に対する興味が段々湧いてくる様になりました。そして、ホームレス仲間の口添えで短期間の仕事を紹介してもらい、その資金で早速『聖書』を買いに行き、聖書を購入した事を金牧師先生、姜師母に報告したところ大変喜んで下さいました。

この様にして、礼拝や集会ごとに教会に通うようになり、洗礼教育を受け2010年12月に洗礼を受けました。そして、以前は退屈で一日を無駄にする日々が続きましたが、今は逆の立場からホームレスの兄弟達に料理を通して人々に奉仕をする喜びを知る様になり、今はイエス・キリストを心より信じキリストと共に生き、充実した信仰生活を送っています。

今考えるとこれまでの事が全て神の御計画であり、導きであったのだと思うしだいです。私はこれからもイエス・キリストと共に生き、主の深い慈しみと愛によって聖霊に満たされの今までと違った人生を送り、イエス・キリストと共に使命を果たし主に喜ばれる奉仕者になろうと思い、日々祈り続けています。これからも、主の大いなる祝福と恵みが金牧師先生、姜師母をはじめ浪速教会と兄弟達に注がれます様、心より感謝しお祈りしています。





路上生活者支援のための クリスマス献金のお願い



主の御名を讃美致します。今年もあっと言う間に過ぎて、クリスマスのシーズンになりました。クリスマスを迎え、皆様の上に平和の君主イエス・キリストの平和と喜びが豊かにありますようにお祈り申し上げます。

1年間浪速教会「愛の家」の事業(路上生活者支援活動)を覚え支援してくださり、心より感謝を申し上げます。お陰様で今年も「愛の家」は、炊き出しを始め、路上生活者支援活動を継続して行なうことが出来ました。私達「愛の家」は、3・11東日本大震災以来、収入が減り赤字で厳しい状況に追い込まれたこともありました。困っていた時、神様が韓国からイエス宣教合唱団を送って下さりミュージカル・コンサートを行い、合唱団の献金、コンサートでの募金によって財政が満たされ無事に「愛の家」事業が守られたことを感謝致します。

今は私達「愛の家」の定期後援者も、一般後援者も減っているのが現状です。今は皆様が毎年支援して下さいるクリスマス献金が一番大きな財源になっているのが現実です。財政が厳しくても「愛の家」は週3回の集会と炊き出し、11月から3月まで、越冬対策のための夜回り(巡回炊き出し、毛布、寝袋配り)をいつものように行なっています。

現在、私たち「愛の家」炊き出しは週3回実施しております。金曜炊き出しには約150～250人が来られ、日曜礼拝や木曜集会にも約100人が来られます。

現在、毎週炊出し費用として69,000円が支出されています。

(お米130kg・39,000円、副食費30,000円、合計69,000円)

クリスマスの前にして路上生活者の皆さんにも、御子イエスの聖誕の喜びとイエスの愛を届けることが出来ますようにクリスマス献金へのご協力お願い致します。

「愛の家」事業：金曜炊き出し、木曜集会と食事、日曜礼拝と食事、散髪奉仕、共同生活、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、冬季夜間パトロール、生活用品収集分配

2012年度クリスマス献金目標額：100万円

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、生活用品、カイロ、食材、お米を送って下さい。

郵便振替：00930-0-299392 在日大韓基督教会 浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2012年12月



在日大韓基督教会 **浪速教会「愛の家」**

共同委員長 森田 幸男 牧師

共同委員長 金 安 弘 牧師

総 務 金 鐘 賢 牧師

献金者お名前(敬称略・順不同)

(2012年4月～2012年12月)

定期後援金: 関西地方会社会部、大阪教会女性会、大阪北部教会女性会、横浜長老教会、石井洋二、豊中第一復興教会、大阪東南教会、都島教会、金鐘賢、許清子、森元孝・金英姫、古川富也・知恵子、大垣教会、山本覚、嶺洋一、米田孝太郎・ちさと、野津道代、大木正典、匿名

一般後援金: 西部地方会社会部、南浦和教会、大阪教会有志、堺清水橋教会、広島教会女性会、横浜長老教会、福岡国際教会、シオン合唱団、大原いづみ、一村照代、斉藤勇男、田部郁彦、寺岡孝、金鐘賢、井上理、津久井勉、金テファン、崔ジョンホ、森純江、コ・ユヨン、石澤、高田輝樹、姜期霊、崔大順、金景淑、澄川美喜子、ソ・ソンギョン、匿名

クリスマス献金: 大阪西成教会、向上社保育園、堺清水橋教会、神戸教会、南大阪教会、久保安子、田部郁彦、崔英淑、(昨年記載漏れた献金者名簿)

建築献金: 関西地方会、金鐘賢・姜貞淑、金斗賢・善栄、大木正典、竹内清、吉見真希、森元孝・金英姫、申容燮・清水のぞみ、久保賢太郎、佐藤栄一・悦子、井上豊、古川富也、森田幸男・孝子、山下博行、匿名

お米、お米献金: 大阪北教会 関西フードバンク、布施教会青年会、洲本チャペル、大垣市内信徒会、神戸布引教会壮年会、韓国ソウル城北教会、久保賢太郎、池本恵、古川富也、六信みどり、宮澤玲子、田部郁彦、小林勝、島内敏子、米田孝太郎・ちさと、大原いづみ、武庫川教会有志、森元孝・金英姫、匿名

食材: 関西フードバンク、久保賢太郎、新居浜グレース教会、山崎靖史・悦子、沈貞児(シオン合唱団)、清水真・佐代子、匿名

衣類、生活用品: グッド・サマリタン・チャーチ、豊中第一復興教会、永和教会、金鐘賢、久保健太郎、六信みどり、武庫川教会、岡山教会、許清子、田部郁彦、平田健二、大原いづみ、上田洋子、匿名

お願い

これから寒さが厳しさを増して行きます。道端で余儀なく路上生活されている兄弟達を支えましょう。

☆毛布、寝袋、衣類、下着、靴下、石ケン、タオル、ホカロン、カバンを送ってください。

☆お米、お米券、食材を送ってください。

☆クリスマスを路上生活者と共に過ごしましょう。クリスマス献金をお願いします。

御支援、心より感謝致します。

「愛の家」センター 建築ニュース

Merry X-mas !

1年間「愛の家」センター
建築献金募金にご協力を頂き

心より感謝致します。「愛の家」センターは路上生活者の憩いの場として多くの兄弟達に愛用されています。寒い時も暑い時も体を休める処となり、「愛の家」家族は毎日「愛の家」を我が家のように通っています。最近韓国やアメリカから若者達が「愛の家」のゲストルームで泊まりながら研修をするチームが多くなっております。若者達が貧しい人と共に生きることの大切さを研修を通して学んでいます。

私達「愛の家」は炊き出しだけでも精一杯であり、まだ建築借金返済があつて荷が重くなっております。

私達は2015年までに「愛の家」センター建築借金返済が終わるように目標を立てて募金活動をしております。

今まで多くの方々が建築募金に協力してくださいました。「愛の家」福祉部屋から出る収入も建築献金に入れています。相変らず集会に参加する路上生活者の皆さんもアルミ缶献金に協力しています。

2015年度まで建築負債の返済が終わり、路上生活者へ宣教支援活動に専念して取り組むことが出来るように建築献金へのご協力お願い致します。

「愛の家」建築負債現状 (2012年12月7日現在)

負債	17,728,000 円
ー残金	474,179 円
実際の負債	17,253,821 円

**皆の力で
愛の家センターを共に支えましょう!!**

国内募金目標額: 1,000 万円

★建築献金お願い致します。

- ①年1口 5000 円以上 ②毎月1口 1000 円以上
- ③各教会、団体、組織別の建築献金
- ④遺産の寄付

発行責任者 金鐘賢・森優紀慶
発行所 「愛の家」広報部
〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3
浪速教会「愛の家」内
TEL 06-6561-4712(教会)
FAX 06-6561-4709(教会)
E-mail: ainoie@msn.com
ホームページ: www.ainoie.org
郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会
00930-0-299392

